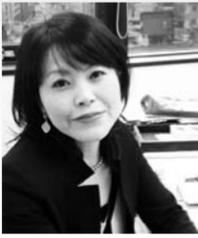


今日から試せる! PR&販促講座

~成熟市場に活路を見出す美容マーケティング~ VOL.10 いくつになっても終わらない女性の「モテ」意識 ~「結婚してもモテたい!」女ゴコロに商機がある?!~

松下令子 (まつしたれいこ)

美容専門PR・販促支援会社 株式会社DSプロモーション 代表取締役
「自分が顧客だったら何を助けてもらいたいのか?」をスタッフ一同の視点にして、PR・販促支援サービスを展開。美容皮膚科等とのパイプも強く、テスター設置活動など独自の販促支援事業が好評。今年度より同販売網を活用して物販事業を開始。「当連載では、販促やPRに生かすヒントとして生活者の美容意識や購買行動の視点から分析していきます。」
【株式会社DSプロモーション】http://www.ds-p.net/ TEL:03-3453-8163



年末はクリスマスや忘年会、年明けは新年会等のイベントが重なるこの時期、とかく女性誌やネットをはじめとするメディアでは、「モテメイク」「愛されヘア」など「モテる」関連の企画やタイトルが踊ります。この女性の「モテ意識」、本音を探るべく調査結果から分析してみました。

弊社で20~50代の女性にアンケートをとったところ、「自分は異性からモテるほうだと思ってるか?」の質問には、「どちらかというモテないほうだ」と答えた人が36.1%をわずかに上回り、「どちらかというモテるほうだ」が36.5%と一番多い回答でした。ほとんど差はありませんが、私が意外に思ったのは匿名性ゆえの本音とはいえず、自分を「モテる」と自覚している人がかなりの割合でいるという事実です。さらには、「結婚後もモテたいか?」という質問には、「はい」と答えた人の方が多く、56.7%となっています。

理由としては様々ですが、一番多かった回答が「いくつになっても女性としての魅力は持っているという事実が自信になる(35歳・専業主婦)」というものでした。「異性にモテる」ということが「女性としてまだ通用する」として自分に魅力がある証となり自信につながるという考え方が非常に多かったのが印象的です。

既婚者の一部には、「キレイなママ、妻でいたほうが子供や夫が喜ぶから(45歳・会社員)」というコメントもあるものの、本音の部分では「母」でも「妻」でもなく、1人の女性としてはもちろん、

「キレイなママ、妻でいたほうが子供や夫が喜ぶから(45歳・会社員)」というコメントもあるものの、本音の部分では「母」でも「妻」でもなく、1人の女性としてはもちろん、

鮭の身やイクラの色として知られるアスタキサンチンは、鮭以外にも甲殻類や紅藻など、様々な動植物の体内に広く存在する赤色の色素で、生物の体内で有害な紫外線から身を守る役割を担っていると考えられている。同社は1994年に「アスタキサンチン」が活性酸素の乾燥や紫外線といった外

中、中でも特に老化に影響の部環境の影響を受けやすくなる。そこで同社では、この

また、使用前後の改善度をアスタキサンチン配合品使用者のグループとアスタキサンチン無配合品使用者のグループで比較すると、配合品使用

者のグループでは改善度の平均値が上回っており、スコアの悪化が見られた使用者は1例もないという結果が得られた。(図4)

健康人23名には、実使用後のアンケート調査を行ったが、アスタキサンチンを配合していないリップクリームとアスタキサンチンを配合しているリップクリームをそれぞれ1週間ずつ使用したところ、「口唇の荒れが改善した」「やや改善した」と実感した人の割合は、アスタキサンチンを配合していないリップクリームの場合約74%であったのに対し、アスタキサンチン配合リップクリームを使用した場合は約87%であった。(図5)

アスタキサンチンに 口唇荒れ改善効果を発見

コーセーは、天然由来の美容成分「アスタキサンチン」が持つ作用に関する研究の成果として、新たに口唇荒れの改善効果があることを明らかにした。「アスタキサンチン」の口唇への生理作用を見出したのは初めてのことで、この研究成果を3月発売の新製品へと応用する。

角層の重層状態を指標として、アスタキサンチンを配合したリップクリームによる口唇荒れ改善の評価を行った。

●アスタキサンチンの口唇荒れ改善効果

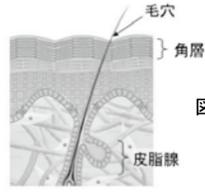


図1: 顔など一般的な皮膚の模式図。口唇は角層が薄く、皮脂腺がほとんどない。

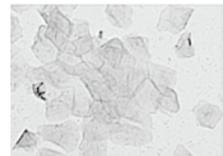
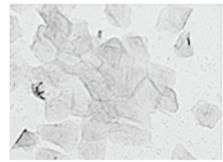
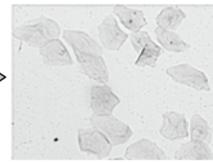


図2: 荒れた口唇の角層細胞。重層化している。



アスタキサンチン配合リップクリーム 使用前



1週間 使用后

図3: アスタキサンチン配合品使用による角層重層化の改善効果

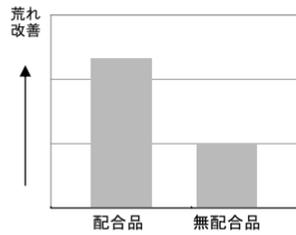


図4: 角層重層化度の変化で見たアスタキサンチン配合品と無配合品使用による口唇荒れ改善効果の比較

配合品	変化なし	やや改善	改善
	悪化	変化なし	やや改善
無配合品(プラック)			改善

図5: アスタキサンチン配合品・無配合品の使用による荒れ改善実感アンケート結果